

「東郷学園義務教育学校の南瀬地区の太鼓踊り伝承活動の取組」

1 学校名

薩摩川内市立東郷学園義務教育学校

2 学年・人数

5年生～7年生 計33人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和3年9月28日, 10月7・11・19日, 11月2日 東郷学園義務教育学校

(2) 発表の日時・場所

令和3年11月4日(木) 東郷学園義務教育学校学園祭

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能, 伝統行事について

(1) 名称

南瀬太鼓踊り (のうぜたいこおどり)

(2) 由来

約450年前から始まった踊りで, 作物が育つことや雨が降ってほしいという意味が込められている。鐘を鳴らすのは, 虫を近づけないようにするためである。

(3) 構成等

小太鼓, 1番かね, 2番かね, 1番太鼓が約32人で太鼓や鐘を鳴らす。下方限・上方限の2種類があり, 下方限は戦の前に踊り, 上方限は戦の後に踊る種類である。

5 保存会や地域との連携の具体

5～7年生のふるさと・コミュニケーション科の学習の一つとして位置付けており, 毎年, 保存会の方々に指導をいただいている。また, 南瀬地区の地域振興大会では, 保存会の方々が, この太鼓踊りを披露してくださっている。これらの機会を通じて, 子どもたちは本郷土芸能にふれている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

南瀬地区の伝統芸能については, 5～7年生のふるさと・コミュニケーション科の学習において, 地域の方々から踊りの由来や意味について学習している。今年度は東郷学園義務教育学校学園祭で, 学習した児童生徒が指導していただいた地域の方々を招待し, 踊りを披露した。地域の方々にはとても喜んでいただいた。この伝承芸能については, 児童生徒もその勇壮さやすばらしさを体感している。

東郷地域の一員としての自覚や地域を誇りに思い, 地域に貢献していこうとする心

情を育むためにこれらの学習は続けていきたい。

7 東郷学園義務教育学校学園祭での発表の様子



【 東郷学園義務教育学校学園祭での発表 】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【 児童生徒 】

- 太鼓はとても難しかったです。とても体力が必要でした。
- こんなにもすごい伝統が受け継がれているんだと思いました。
- 地域の踊り（郷土芸能）をしっかりと覚えようと思った。

【 保護者 】

- 大切に引き継がれている伝承芸能を見ることができてよかった。子どもたちもいい経験ができたと思う。

【 教職員 】

- 南瀬地区に継承されてきた伝統芸能を引き継ぐことは、地域とともにある学校として大切な学習と捉えています。子どもたちにとってもたいへんよい経験になっていると感じています。

【 地域・保存会 】

- 子供たちが一生懸命に取り組む姿を見ることができてとてもうれしいです。
- 年々、メンバーが高齢化してきたので、子どもたち、若い人たちにも経験してほしい。
- 南瀬地区の伝統芸能を受け継いでほしい。